

For 100th year Anniversary of Nippon Kempo

(Sub : 日本拳法・創始 100 年の計 : オリンピック種目を目指して)



国民スポーツ大会

一般社団法人日本拳法競技連盟・本部（事務局）

※ JSPOスポーツ団体ガバナンスコード(NF向け)遵守状況に関する、自己説明公表に当り

(日本拳法の歩み)

- 1, 1932年8月15日～20日 日本拳法・創始元年 洪水会本部道場にて公開演武(お披露目)
- 2, 2017年2月23日 一般社団法人日本拳法競技連盟 設立(以下競技連盟)
- 3, 2019年6月10日 スポーツ団体ガバナンスコード<NF向け>原則 13・43項目発表 スポーツ庁(ガバナンスコード)
- 4, 2019年6月21日 JSPO正会員入会決定

(ビジョン : 国民スポーツ大会・オリンピック種目達成に向けての三事業計画)

競技・世界 100ヶ国・100万人以上を目指して(内・国内 10万人以上)

- ① 短期(3ヶ年)事業計画(2021.4.1. ～2024.3.31.)
 - 1, 本部組織とガバナンスの強化 (コンプライアンス・アンチドーピング強化含む) 関連事項
 - 2, ブロック・国民スポーツ大会参加有資格者となるために、全指導員 JSPO 公認資格取得(拳法コーチ 1・2)を目指します。
 - 3, 国内、日本拳法競技人口増加推進の強化体制作り
 - 4, 海外(国交交流)の拡大と、海外支部設立の推進
 - 5, その他 … 関連事項(収支予算等)
- ② 中期(3ヶ年)事業計画(2024.4.1. ～2027.3.31.)
 - 1, 各種大会開催支援*ブロック大会・国民スポーツ大会参加*海外・国別・地域大会
 - 2, JSPO公認資格(拳法コーチ 3・4)これにより、国際大会が公認されます。
 - 3, その他 … 関連事項・全て完了、新組織体制を確立しなければならない。
- ③ 長期(6ヶ年)事業計画(2027.4.1. ～2033.3.31.)
 - 1, 11年後の 2032 年度 夏季オリンピック参加(豪・ブリスベン大会)を目指します。

※ 現在:ブロック大会・国民体育大会参加種目/オリンピック参加種目となる条件について調査中※

A、ビジョン作成に当り配慮した事項 武道の史実より、オリンピック競技種目を目指します。

古代紀元前7世紀頃、オリンピアの競技種目にパンクラチオンという種目で、徒手(素手)総合格闘技・攻守何でも有りの試合が行われました。また、日本では同時期古事記に、紀元前660年徒手総合格闘技【すまい…後の相撲へ変化】として、国盗り試合として行われたと、いずれも世界の総合格闘技界では常識として、史書に掲載されています。

しかしながら、いずれの戦いもあまりにも勝負の結果が、悲惨な(死者・傷害のひどさ)結末となり、1回限りで中止、その後いずれの試合も公式開催されず、現在に至っております。この危険な徒手総合格闘技をスポーツ武道として、防具を着装し身体の危険防止に、最大の配慮を加え、1932年に誕生したのが日本拳法で有ります。再度・世界の競技種目としてJSPO・正会員の競技種目となり『徒手総合格闘技の日本拳法』が認知され、スポーツとして認められたことは、この上なく『日本拳法修法者一同』一層の鍛錬に励んでおります。今後、日本拳法創始100年に向けて、スポーツ武道として、国民スポーツ大会・オリンピック競技種目を目指してまいります。

B、現代社会が求める、スポーツの将来へ向けての役割についての責任を背負って、競技連盟は活動してまいります。

タイトル:日本拳法祝・100年 (Sub・日本拳法100年の計:オリンピック種目を目指して)は、2020年日本拳法創始88年、人間の歳で表わしますと88歳(米寿)を迎え、前年2019年度にJSPO加盟・正会員の榮譽に博し、同時にJSPOさんから頂きました、… 以下①～③を添付致しました。

- ① 2011年(平成23年発表)、創立100年を迎えたJSPO・JOC(日本のスポーツ100年 :スポーツ宣言日本～二十一世紀におけるスポーツの使命～)
- ② スポーツ団体ガバナンスコード<中央団体向け>の13原則・審査43項目・審査基準を策定されました。(3.3.31・競技連盟・現状公表)
- ③ スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>の、全加盟団体へ徹底し、適切な周知・運用に向けて:スポーツ・スポーツ長官メッセージを守り、前述・三事業計画を発表し、到達点を12年後のオリンピック種目に向け進めてまいります。

C 今後、組織運営に当り、特に注意しなければならない事項です。

※ 競技連盟では、地方組織・等に対するガバナンスの確保・コンプライアンスの強化、指導・助言・支援を行なうことの出来る本部組織作りを目指します。